

令和4年度  
高知県建設業デジタル化促進モデル事業  
現場見学会

発注者：高知県幡多土木事務所  
受注者： 有限会社 富山建設

# 1, 工事概要

## (1) 工事概要

工事番号	道交地防安 (1.5車)	第103-038-5号
工事名	県道大方大正線 防災・安全交付金工事	
工事場所	高知県 四万十市 三ツ又	
工期	(自) 令和6年3月16日	
	(至) 令和6年11月5日	
契約金額	¥ 61,941,000	(内消費税 ¥5,631,000 )

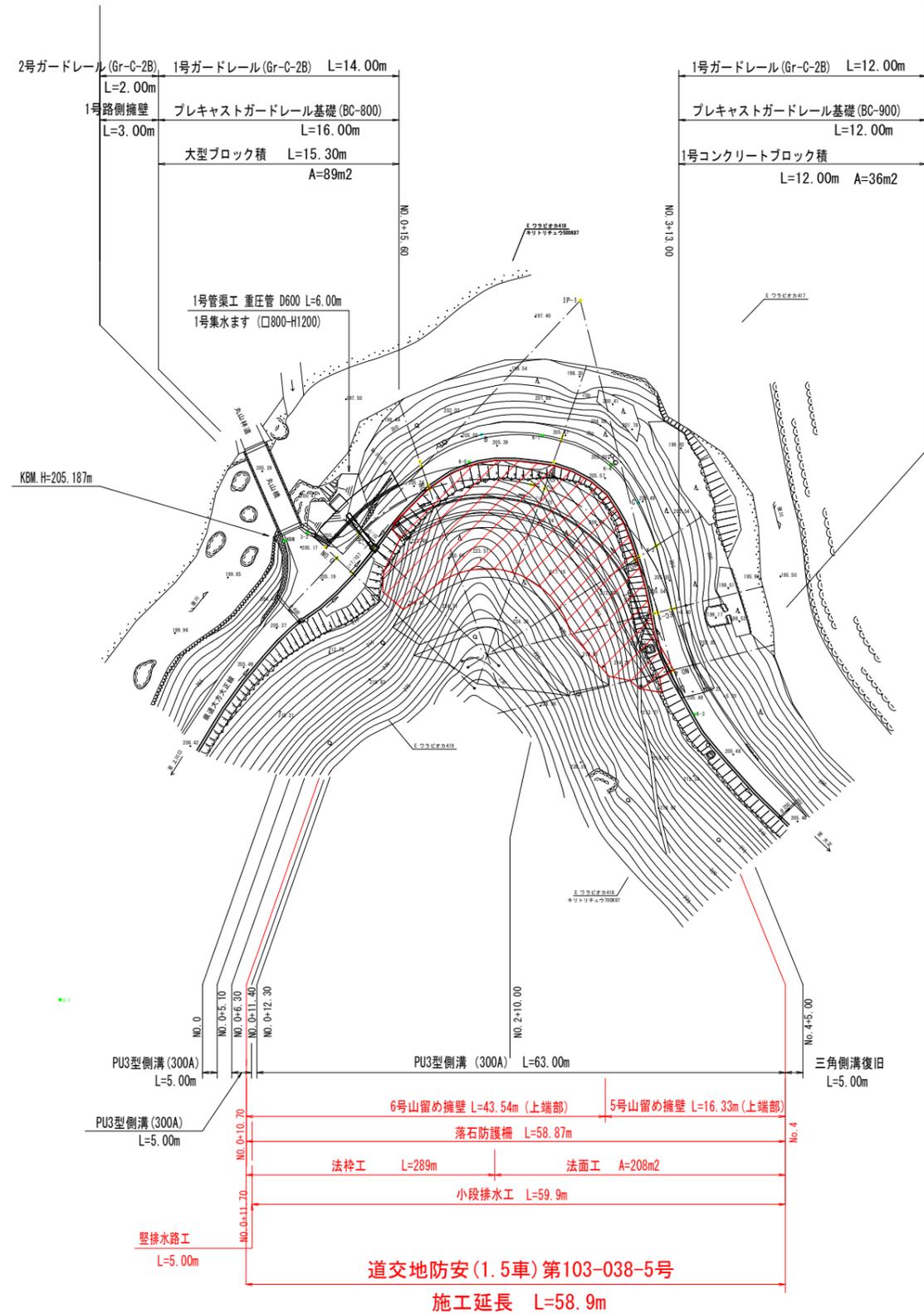
工事内容	施工延長	L=58.9m
	掘削工	V=1100m <sup>3</sup>
	法枠工	L=289m
	法面工	A=208m <sup>2</sup>
	場所打擁壁工	V=188m <sup>3</sup>

# 2, 平面図

## 平面図

S=1:500

(24工区)



IP.No	1
IA	122° 39' 48"
R	30
TL	54.868
SL	32.534
CL	64.226

24工区

高知県	
工事種別	道交地防安(1.5車)第103-038-5号 県道大方大正線 防災・安全交付金工事
図面名称	平面図 縮尺 1:500
路線河川名	県道大方大正線
工事箇所	高知県 四万十市 三ツ又
設計種別	実施設計
事務所名	樟多土木事務所
会社名	
図面番号	1/12

# 3,標準断面図

土工区分表

機械土工			
区分	記号	土質	概要
片切掘削 W<5.0m	94KH	硬質土	人力併用機械掘削
	96KH	軟岩	人力併用機械掘削
	93K	粘性土	B, H又はB, D
オープン掘削 W≥5.0m	94K	硬質土	B, H又はB, D
	96R	軟岩	リッパ-ブルドーザ
	96K	軟岩	大型ブレーカー
床掘	14K	硬質土	バックホウ
	16K	軟岩	大型ブレーカー
埋戻	B4-C	硬質土	1.0≤W1<4.0m W2<1.0m
	B4-D	"	W1<1m, W2<1m
	B4	"	締固めなし
盛土	路床	BV1	硬質土 W≥4.0m
		BV2	" 2.5≤W<4.0m
		BV3	" W<2.5m
	路体	BV5	" W≥4.0m
		BV6	" 2.5≤W<4.0m
		BV7	" W<2.5m
	他	BV9	" 路床・路体外

法面整形		
区分	記号	概要
機械切土整形	N4KH	硬質土 (人力併用機械)
	N6KH	軟岩 (人力併用機械)
	N4K	硬質土
	N6K	軟岩
バックホウ盛土法面整形	NK3	土羽 (粘性土)
床均し	NK4	硬質土
	T4	硬質土

取壊し		
区分	記号	概要
コンクリート取壊し	CT	無筋構造物
アスファルトはぎ取り	HT	t=100mm

舗装工		
区分	記号	概要
アスファルト舗装	R1	(表層) t=50mm
	R2	(上層路盤) t=100mm
	R3	(下層路盤) t=100mm
	R4	(余幅部) t=50+100mm

## 標準断面図

S=1:100

### アスファルト舗装

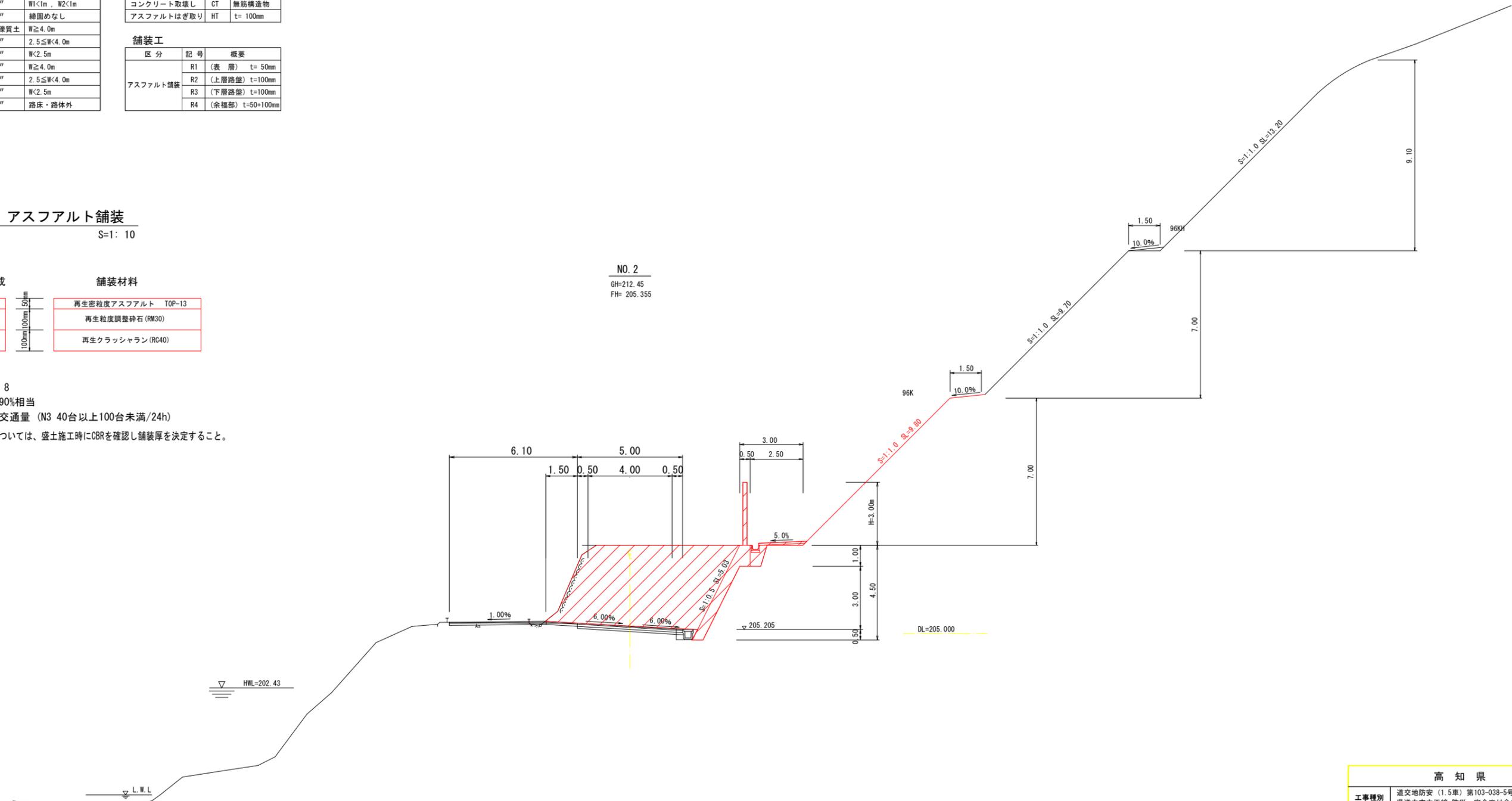
S=1:10

舗装構成 舗装材料

表層	100mm	再生密粒度アスファルト TOP-13
上層路盤	100mm	再生粒度調整砕石 (RM30)
下層路盤	100mm	再生クラッシュラン (RC40)

- 注記) ・設計CBR: 8  
 ・信頼性 90%相当  
 ・舗装計画交通量 (N3 40台以上100台未満/24h)  
 ※舗装構成については、盛土施工時にCBRを確認し舗装厚を決定すること。

NO. 2  
 GH=212.45  
 FH=205.355



24工区

高知県			
工事種別	道交地防安 (1.5車) 第103-038-5号 県道大方大正線 防災・安全交付金工事		
図面名称	標準断面図	縮尺	1:100
路線河川名	県道大方大正線		
工事箇所	高知県 四万十市 三ツ又		
設計種別	実施設計	図面 番号	3 12
事務所名	榎多土木事務所		
会社名			

## 4, 【 施工状況 】



【杭ナビLN-150】



【快測ナビ】

## 5, 【補助事業内容】



【杭ナビLN-150】

ICT測量機器の導入



【4.7インチタフブック】

(快測ナビ)

インストールする端末の導入



【3次元設計データ作成ソフト】

SiTECH3D

ソフトウェアの導入

## 6, 【受注者評価】

現在は、まだまだ機器等に不慣れである為、従来の方法の測量とICT測量機器及びソフトウェアを使用して労力及び時間をかけておりますが、ICT測量機器のみの運用が出来るようになれば、時間を大幅に削減短縮する事ができ作業効率の向上につながります。

今後も機器等に慣れるように、ICT測量機器の活用するタイミングがあれば積極的に活用しようと考えています。

プロセス	使用機械	従来	ICT	効果	評価
測量	LN-150・快測ナビ (今回購入)	2人・日	1人・日	150%	従来工法+ICT工法で施工を行っている為、効果が150%となっているがICTのみで運用可能になれば-50%の効果となり大幅な時間の短縮が期待され作業効率の向上につながる。
3次元設計データ	SiTECH3D (今回購入)	1人・日	1人・日	-	今回、側溝のみでも検討していたが道路線形がR30と大きいカーブの現場の為、作業効率の期待が望めないと判断し、次回以降単純工法で挑戦したい。3次元設計データが上手く運用できれば現場の見える化につながり伝達手段として最高のツールとなり安全向上につながる。また、事務所内での作業となる為、女性の活躍の場としても期待。
ICT施工	従来どおり	-	-	-	
3次元出来形管理	従来どおり	-	-	-	
合計		3人・日	2人・日	-30%	